

平成24年度 病虫害発生予察情報

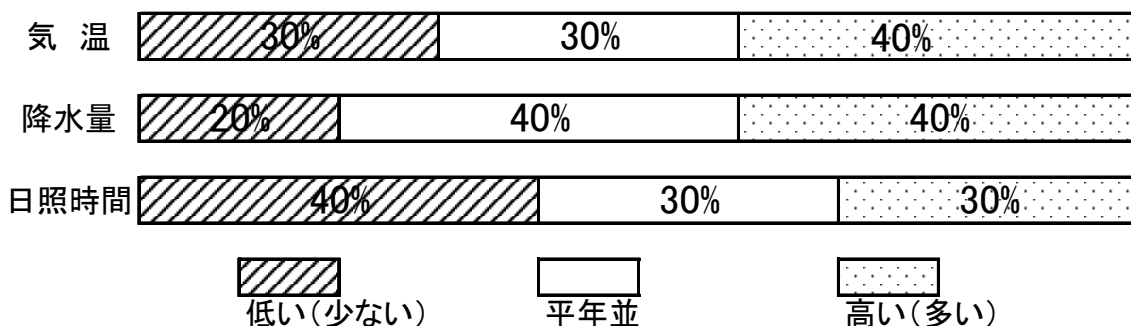
発生予報第8号（10月）

平成24年10月 2日
島 根 県

予報の概要

区分	農作物名	病虫害名	予想発生量
果樹	カキ	カメムシ類	平年並
野菜	キャベツ	黒腐病	平年並
	アブラナ科野菜	菌核病	平年並～やや多い
		コナガ	少ない
		ハスモンヨトウ	少ない～やや少ない

中国地方1か月予報(9月29日～10月28日・広島地方気象台9月28日発表)
＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)＞



A. 果樹

1) カキ

(1) カメムシ類

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 平年並

予報の根拠

① 9月5半旬から10月1半旬までの予察灯（出雲市）でのカメムシ類の誘殺数は30頭（平年34.9頭）と平年並み。

② 9月下旬の巡回調査での累積被害果率は1.2%（平年5.6%）とやや少ない。

③ 10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

B. 野菜

1) キャベツ

(1) 黒腐病

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並

予報の根拠

① 9月26日現在、巡回調査圃場において発生は確認されておらず（平年発生圃場率5.3%）、全般の発生量はほぼ平年並みである。

② ハスモンヨトウ等食葉性害虫の発生は少ない～やや少ないと予想されている。

③ 向こう1か月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

(2) 菌核病

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ① 9月26日現在、巡回調査圃場において発生圃場率3.8%（平年発生圃場率0.4%）、全般の発生量はほぼ平年並みである。
- ② 向こう1か月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

2) アブラナ科野菜

(1) コナガ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 少ない

予報の根拠

- ① 9月下旬の調査では、アブラナ科野菜での卵・幼虫・蛹の寄生株率は0.0%（平年6.3%）で発生量は少ないある。
- ② 10月の気象は、本種の発生を助長する要因とはならない。

(2) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 少ない～やや少ない

予報の根拠

- ① フェロモントラップによる7月初めから現在までの雄成虫累積誘殺数は、出雲市で平年の21.2%、益田市で平年の15.0%と少ない。
- ② 9月下旬の調査では、アブラナ科野菜での卵塊・幼虫発生圃場率は21.4%（平年50.1%）、寄生株率は3.6%（平年8.4%）で発生量はやや少ない。
- ③ 10月の気象は、本種の発生を助長する要因とはならない。

島根県病害虫防除所

(島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫グループ)

〒693-0035 出雲市芦渡町2440

TEL : 0853-22-6772

FAX : 0853-24-3342

ホームページアドレス <http://www.pref.shimane.lg.jp/nogyogijutsu/byougaityuu/>